

# そらこめ通信 No.51 2014.10発行

日頃より弊社のコメをお買い上げいただき誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

9月12日(金)から始まった稲刈りは、9月27日(土)夕刻に無事終了しました。作業前半は雨の日が続き、なかなか進まなかった稲刈りも、9月下旬の好天に背中を押される形で、後半は順調に作業を進めることが出来ました。今年のコメの出来ですが、収量的にはまずまずといったところです。新聞報道によると、9月15日の水稻の作柄は、10aあたりの平年収量を100とする作況指数で北海道は「108」の「良」でした。作柄が「良」となったのは全国で唯一北海道だけ。ちなみに、全国平均は「101」の「平年並み」、北海道に次ぐ2番手は岩手県の「105」で「やや良」とのこと。東海以西では日照不足などであまりふるわなかったようです。作況指数はあくまでも見込みとしての収量の多寡を指すもので、食味には直接は関係ありません。ただ、収量が多いという事は日照時間なども充分確保できたことを意味するわけで、一般的には(収量が多い年は)食味も良いと言われていたようです。

一方、今年の全国の作柄概況が「平年並み」となったことで、年初から続いているコメ余りが深刻化する兆しがあります。国民ひとり当たりのコメの消費量が減っていることに加え、近年は耕作技術の進歩などで収穫量が落ち込む年が無いことも一因とか。皮肉な話です。今年は、ある程度の収量は確保できそうですが、農家の収入増には直結しないようです。コメは1膳あたりに換算すると、数多ある主食の中では最も低価格でヘルシーな食材です。国民の皆さんには、もっともっとたくさん食べてほしいものです。

間もなく新米の発売を開始します。その際はホームページ上にてお知らせいたしますので、どうぞご期待下さい。



ふつりんこの圃場(9月8日)



今年入れ替えた2台の乾燥機(9月8日)



コンバインによる稲刈り(9月21日)



モミをトラックに移す作業(9月21日)



モミを乾燥機のホッパーに投入(9月21日)



ホッパーに投入されたモミ(9月21日)



出荷を待つ「コスモス」の束(9月21日)



コスモスのハウスと、出荷されずに残った可憐な花びら(9月21日)



ダリア「コクチョウ」(9月21日)



シネンシス「リリーダイヤモンド」(9月21日)



稲刈り作業は続く(9月26日)



この日は拓哉さんが一人で刈り取り作業(9月26日)



社長は倉庫でモミの格納作業(9月26日)



リフトでゲージのモミを格納(9月26日) ひとつのゲージを格納し、次のゲージの組立作業を行う木村社長(9月26日)  
 稲刈りで多忙を極める中、もう一つの収入源である花卉の出荷もピークを迎えています。今年初めて作り始めた「コスモス」もそのひとつ。秋の花の代名詞ともいべきこの花は、つぼみのうちに収穫して出荷しなければなりません。ハウスの中をのぞくと、収穫されずに残った花がひとつふたつ……。これもまた風情があります。コスモスの花言葉は「乙女の純真」「乙女の真心」だそうです。実に可憐ですね。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
 ブログ「生産日誌」更新中です